

解説

◇このワークシートのねらい

動物たちはそれぞれの生息環境の中でしっぽをうまく使って生活しています。動物たちのしっぽがどんな形をしているのかよく観察し、どのような役割をしているのか理解を深めてもらいたいと思います。

1 アメリカビーバーのしっぽをかこう！

アメリカビーバーは、北米の森林地帯の水辺に暮らし、川や湖の中に巣を作ります。平たい尾は泳ぐときの舵取りや、水面にたたきつけて敵の接近を仲間に知らせたりする時に使用します。



2 ワオキツネザルのしっぽをかこう！

ワオキツネザルは、マダガスカル島南部の原生林や川沿いの森に生息しています。体よりも長いシマシマの尾は、木の上でバランスをとったり、地上を歩く時に高く上げると仲間の目印になります。ワオキツネザルという名前は、この尾（輪尾）が由来です。



3 シマウマのしっぽをかこう！

草食獣のシマウマは草原で草を食べているとハエなどの虫が群がってきます。尾の先端には房状の毛があり、大きく振って虫を追い払う「はえたたき」のような役割をしています。



4 ニホンリスのしっぽをかこう！

樹上性のニホンリスは、木の上でバランスを取るために尾が役立ちます。また、からだに尾をかぶせるようにして、雨や雪をよける役割も持っています。



◇まとめ

動物たちの尾には、バランスをとったり虫を追い払う以外にもいろいろな役割があります。園内では、からだを支える尾を持つカンガルーや木をつかむことのできる尾を持つコアリクイ、ピントロングも展示しています。いろいろな動物たちの行動や尾の動きをよく観察してみましょう。動物たちの尾から、その暮らしを知ることができるかもしれません。

このワークシートについてのご意見、ご感想がありましたら遠慮なく動物公園までお知らせください。またアンケートにもご協力をお願いします。

〒781-5233 高知県香南市野市町大谷738

高知県立のいち動物公園 ワークシート係

TEL 0887-56-3509 FAX0887-57-5251